



二段坂のマラソンコース完走なるか？～BSR地帯に挑む孤高の国～

メタンハイドレート（以下MH）を含む地層とその下のフリーガス層の境界には、音波探査の断面上に海底擬似反射面（BSR：Bottom Simulating Reflector）と呼ばれるサインが出現する。2013年3月、資源エネルギー庁は、このBSRが確認されている愛知県と三重県の沖合の深度約1km海底面からさらに約300m下の砂層中にあるMH塊まで掘削装置を貫通させ、史上初めて海底のMHから天然ガスを試験的に取り出すことに成功したと発表した。今では探査も進み、日本大陸だけでなく全ての大陸の沿岸沖合の至るところにMH鉱床が潜んでいることがわかっていて。それでもその後、日本はおろか世界においてもMH活用への前進を示す報道に触れないでいるのは、このMHの商業化というマラソンコースに立ちほだかる二つの急坂があるからだ。一つ目の坂

は採掘コスト。埋蔵量は膨大だが、今なお深海に低温高圧化で存在するMHを競争力ある価格で提供するに有効な採掘方法の確立には至っていない。そのため、米国の場合は、安価なシェールガスに比べて大幅にコスト高のMHをエネルギー資源として探査する動機は薄く、カナダもMHは豊富にあるが、同様の理由から調査プログラムを中止した。それでも日本は2023年度以降の商業化を



これを抜いたらどうなる？みだいな段階なのですね

目指して愛知・三重両県沖の深層からの効率的採掘法開発の巨額のプロジェクトを2016年秋から開始する計画だ。しかしながらこの坂の先にはさらに見通しの悪い急坂が待っている。MHは、低温高圧化のいわゆるハイドレート安定領域に存在しているが、石油鉱床とは異なり本質的に不安定でその広がりや特定するのが難しく、周囲のMH層ネットワークや採掘時の海底地すべり、生態系への影響もまだ十分把握されていない。もし採掘時の影響を制御できなければ、あるいは不慮の事故が起こればCO₂の20倍もの温暖化効果を持つメタンガスが膨大に大気中に放出される恐れもある。最終的に事業を進めるかどうかの判断を十分な情報に基づいて下せるようになるまでには、多くの科学・環境・工学上の未解決の問題を克服しなければならないのだ。

ココに技あり！

安全安心の作業服リニューアル

当社の「試料を採取する」という作業には、「かがむ」動作が頻繁に発生します。もし胸ポケットに手帳や携帯電話を入れたままボタンやファスナーを閉め忘れていれば、サンプルのある水槽中に、又はガスサンプリングをしている高所から地上に、それらを落下させることになって危険であると同時にお客様の設備を破損させることになりかねません。下半身のポケットから落とす事例がほぼゼロであるのに対して、上半身のポケットやペン差しから落とすヒヤリハットはかなりのあります。過去には水槽にダイバーを潜水させて落下物を拾い上げたこともありました。当社では、胸ポケット内に何もなく確実に閉められていることが確認できるようKY活動の継続とともに、それが「見える化」できるよう、写真のような作業服（左）にリニューアルしました。胸ポケットはかなり浅く、名刺入れすら入りません。パンツもカーゴ型

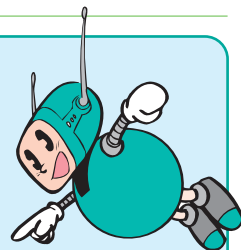


となりましたが、それでも手帳や携帯電話など重さのあるものはかさばるため、ベルトにキャリングポーチを付けています。

こんなエコあります Vol.5

「Fun to share」の宣言を行いました。こんな活動で存知ですか？

「Fun to share みんなでシェアして、低炭素社会へ」というキャッチフレーズを耳にしたことはありますか？環境省では、2014年からこれまでの地球温暖化防止国民運動に代わる新たな気候変動キャンペーンとして「Fun to Share」をスタートしています。「COOL BIZ」「朝チャレ」などもここに含まれ、「目標に向けてガマンしながら必死に頑張るのではなく、毎日楽しく暮らしながら、低炭素社会を作ろう」という発想の活動です。当社も低炭素社会実現に向けた気候変動キャンペーン「Fun to share」に賛同し宣言を行いました。こういった活動を従来のISO14001の活動と合わせて取り組んで行きたいと考えています。



Fun to Share が推進する低炭素アクション		
COOLBIZ	COOL SHARE	Light BIZ
ECO DRIVER	グリーンカーテンプロジェクト	smart move
あかり未来計画	WARM BIZ	WARM SHARE
朝チャレ	みんなで節電アクション	IPCC report communication
家庭エコ診断	民間団体とメディアの連携を促進！	住宅用と業務用の省エネスタート

現在までの Fun to Share 宣言数 **6,299** 宣言

新たに加盟した賛同企業・団体






＞ 賛同企業・団体一覧

Fun to Share 最新イベント&レポート

＞ イベント&レポートページ

社員プチコラム

馬庭 和歌子（四日市分析センター ラボGr）

育児休業から復帰して早や5ヶ月、会社の皆様に支えられながら、子育てと仕事の両立に奮闘している毎日です。復帰した6月には保育園で泣いてばかりだった娘も、この5ヶ月でぐんぐん成長し、笑って楽しく過ごせるようになってきました。先日、娘が通っている保育園の運動会があり、親子で参加しました。少しだけ歩いて、年長さんから旗をもらう「旗取り」で、人見知りの娘が大勢の観客の前でちゃんと歩いて、旗をもらうことができ、そんな小さなことでも親としてはとても嬉しい思い出となりました。娘に見習い、日々成長を心掛けたいと思います。



編集後記

今月号より編集部のメンバーが交代し、NEWメンバーでお届けしております。コアな視点を継続しつつ、これからも楽しんで読んでいただけるような掲載を心がけ、気持ちを新たに取り組んでみたいと思います。今後ともご愛読のほどよろしくお願いいたします。

（新編集長 みっちー）

